

住み続けたい まちづくりを前進

25年度決算

総額 **86** 億円

100円バスの運行や子育て支援などに

9月定例会議

9月定例会議は、9月5日から12日までの8日間の日程で行われました。
町長から提出された議案は、25年度各会計の決算認定のほか、26年度一般会計と特別会計の補正予算や条例改正など14件、12月定例会議に参考人を招致する議員発案1件が提出され、全議員の賛成ですべて原案どおり「決定」しました。
8日に行われた一般質問では3名の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



遊休農地へ野菜の種まき

を行う葛巻保育園児ら

監査委員の意見

25年度決算はすべての会計が黒字で、各種財政指標も改善されており、財政運営の健全性が維持されています。社会情勢の変化の影響による、町税などの収入の落ち込みを見据え、今後も健全な行政運営を望みます。
景気回復が地方まで浸透していない状況の中、収入未済額が、すべての会計で減少しており、職員の努力の成果が表れています。

一方で諸収入の未済額が発生しました。この要因は、出納閉鎖期間における担当課のチェックが不十分だったことから、確認事務の徹底を求めます。

本町の財政運営は約8割を地方交付税などの財源に依存している財政構造のため、自主財源の確保は大きな課題です。より一層の工夫を凝らし、引き続き自主財源の確保に努力が必要です。

決算の概要

25年度の一般会計と5特別会計の支出額は86億8520万円、前年度比2042万円、0.2%減少しました。

一般会計は、支出総額61億9186万円、前年度比1億8180万円、2.9%減少しました。地域情報通信基盤施設拡充整備事業の完了など、普通建設事業費の減額が主な要因です。

また、5特別会計の支出総額は、24億9334万円、前年度比1億6137万円、6.9%増加しました。

江州簡易水道整備事業が本格的に始まったことが主な要因です。会計別の決算状況は下の表のとおりで、全会計が黒字決算です。

25年度会計別の決算状況

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	
一般会計	65億9,719万円	61億9,186万円	
特別会計	国民健康保険事業	11億9,590万円	11億4,835万円
	簡易水道事業	2億9,300万円	2億8,792万円
	農業集落排水事業	2億 302万円	1億9,339万円
	後期高齢者医療事業	6,971万円	6,574万円
	国保葛巻病院事業	8億2,924万円	7億9,794万円
合計	91億8,806万円	86億8,520万円	

※病院事業会計の決算は、7月定例会議で認定しましたが、特別会計の決算額に含めています。

26年3月31日現在の基金(貯金)残高は、44億3395万円、前年度比7億7525万円、21.2%増加しました。
地方債(借入金)残高は、82億515万円、前年度比1億8209万円、2.2%減少しました。

財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく、25年度の一般会計や特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

●健全化判断比率

各指標	25年度	24年度	比較
実質赤字比率(15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率(20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率(25%)	7.8%	9.4%	△1.6
将来負担比率(350%)	なし	なし	-

※各指標の()内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

※将来負担比率は、将来負担見込額が充当可能な財源の額を下回り、比率なしとなりました。



決算審査を行う監査委員

●資金不足比率

経営健全化基準は20%で、簡易水道事業、農業集落排水事業のいずれも資金不足は発生していません。